

連続光輝焼鈍ライン納入

中外炉工業 ルーマニア社に

欧州市場での事業拡大にもつなげる。

ステンレス鋼の光輝

中外炉工業は31日、ルーマニアのステンレス鋼メーカー、オテリ

BA3は板厚0・07

焼鈍は焼きなましを大

ノックス社向けに電熱

1・0ミ、板幅60

気中ではなく雰囲気ガ

式連続光輝焼鈍ライン

0・1320ミのステ

スの中で行うことによ

(以下、BA3)を納

ンレス鋼帯を処理する

ながら光沢を維持する

入したと発表した。電

連続光輝焼鈍ライン。

熱処理。BA3では熱

気を熱源とすることで

2023年1月に契約

源を電気に置き換える

燃焼に伴うCO₂排出

を締結し、設計・製作、

据え付け、試運転を経

を抑制する設備で、高

て、25年12月に商業生

でのCO₂排出がゼロ

品質なステンレス鋼材

産を開始。予定通りラ

素化ニーズに対応す

の生産と脱炭素化に対

インが立ち上がり、今

熱交換器用素材など、

電する。同社が注力す

年8月に検収も完了し

る。同社によると、従

る電熱式熱処理設備の

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される



電熱式連続光輝焼鈍ライン

イン(BA1)を納入しており、約50年にわたる納入実績と信頼関係を背景に今回の受注につながった。

中外炉は欧州向けの電熱式焼鈍炉を1995年に初納入しており、今回が7基目となる。今回の設備納入について、欧州市場で電熱式熱処理設備の事業を広げる上で重要な実績と位置付ける。同社では「脱炭素化や高品質化、生産性向上に寄与する設備・技術を提供し、欧州をはじめとするグローバル市場での事業拡大を目指す」としている。

来燃焼式設備では年間約2770トンのCO₂排出量が想定されるといふ。

分野での使用が見込まれている。

中外炉とオテリノックス社との関係は長く、1977年に中間焼鈍用・仕上焼鈍用のステンレス鋼連続焼鈍酸洗ライン(APL)を納入したのが始まり。02年にはステンレス鋼用連続光輝焼鈍ラ

同設備で生産される

高品質ステンレス鋼材

は、電気自動車(EV)

の車載用電池関連素材

やデータセンタ向け

熱交換器用素材など、

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される

需要拡大が期待される